

2018年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事録

日時：2019年3月8日（金）16時00分～17時25分

場所：仙台管区気象台第3会議室

出席：大林、青木、山崎、菅原、西尾、加藤、中澤、福田（以上理事）、吉田（会計監査）、
岩淵、淵上、中川（以上幹事）（敬称略）

司会：加藤理事

議題1. 2018年度事業報告

議案のとおり承認した。

議題2. 2018年度会計報告

議案のとおり承認した。

- ・支部強化基金による活動だが、本部からの基金の支給だけで賄える場合は、予報士会に分担金を負担いただくのは申し訳ないのではないか。
- ・予報士会も主催として参加したいという考えから、この点は問題ないと伺っている。
- ・了解した。今年度、経費が安く上がったのは、会場費等がかからなかったからか。
- ・会計報告を見ると役員・交通費がかからなかったのが効いているように思う。
- ・その通りである※。
- ・後に支部長会議報告で説明するが、支部強化基金は永続的なものではないので、将来のこの支部強化基金による活動は、今後議論が必要と思う。
※補足：今年度のサイエンスカフェでは、物品の運搬は、気象台のお天気フェアのものに便乗させていただき、設営・撤去は事務局が対応、ファシリテータも学会理事・予報士会に対応いただいたことにより、この部分の経費を圧縮することが出来た。
- ・会計の期間だが、この議案書では2月末までのものであり、年度として処理はどのようにしているのか。
- ・最終的にもう一度決算報告を作成し、会計監査を実施し、本部へ報告するとともに、来年度の第1回理事会で報告することとしている。

議題3. 2018年度会計監査報告

議案のとおり承認した。

議題4. 2019年度事業計画案

議案のとおり承認した。

3) 東北支部気象講演会

- ・来年度は青森県での実施ということで、今後、谷田貝理事と相談しながら進めていきたい。

5) 支部強化基金による活動

- ・来年度のサイエンスカフェの実施については、今後、周知・広報などについて理事各位からのアドバイス等いただきつつ、予報士会提案の方針で進めていくことが了承された。
- ・事前に杉山理事よりメールで共有があったとおり、予報士会東北支部では、来年度はサイエンスデイではなく、仙台市環境局のたまきさんサロンにおける“サロン講座”として、実施することを検討して

いる。

- ・（たまきさんサロンでの実施は）次回も新たなチャレンジということで良いのではないかと。サイエンスデイでは、いろんなブースがある中で、引き止めるが難しいというところもあったが、反面当日の客引きで参加いただいた方もいた。一方、（主たるターゲットとして想定していた）興味を持った高校生などを集めるなどということが課題となっている。この辺りを何とか工夫できるとよい。
- ・たまきさんサロンで会場費等が不要であれば、その分で広報を充実させるのも良いと思う。
- ・（進路を検討中など）高校生にとっては、大学での実施はむしろ参加を促すものとなるのではないかと。あとはどのように宣伝していくのかということがキーになると思う。
- ・ユーザーとして利用することがよくあるが、宮城教育大の環境関係の先生がここを借りてイベントをやるのが良くあり、いろいろとたまきさんサロンに関する話は伺っている。大学の中とはいえどもたまきさんサロンは仙台市のスペースであり、仙台市の広報がメインになってしまうので、イベントに集まる客層は小さい子供連れのお母さんなどが多い印象がある。例えば東北大学の先生が表に立って、高校生に呼びかければ、集まるということなども想定される。いずれにしても宣伝の方法で集まる客層が大きく変わると思うので、広報の仕方がキーになると思う。また、地下鉄の駅から上がる必要があるという距離的な問題も留意すべき。
- ・茨城県つくば市のつくば賞の授賞式に出る機会があったのだが、そこでは近隣の高校生も招いており、講演とは別に、休憩時間に受賞者と直に話ができるという機会があり、多く活用されていた。このようなことも効果的と思う。
- ・机や椅子も移動が自由であり、そのような交流には使いやすいスペースだと思う。
- ・学校への広報について、アドバイスなどいただけないか。
- ・やはり教育委員会から何らかのサポートを受けるのが良いと思う。
- ・前に仙台市科学館で実施した際は、そのようにしていた。
- ・高校の試験などと重ならない実施時期とすることも重要と思う。

6) 小倉奨励賞などへの推薦

- ・来年度より名称が変わり、小倉奨励賞となる。選考は進んでおり、東北支部からのエントリーは無かったが、全国で5件のエントリーがあり、年度内には委員の審査が終わる見込み。

議題5. 2019年度予算案

議案を承認した。

議題6. 検討事項

(1) 支部長会議の報告

【他支部の報告から】

- ・支部独自の若手の表彰等への取組について意見を伺いたい。
- ・若手研究者にとってはそのような受賞という実績はメリットとなると思われるが、他支部では具体的にどのように実施しているか。
- ・研究会で優秀な発表を選ぶというやり方と、研究実績・論文などから推薦して選ぶというやり方があると聞いている。
- ・研究会で良い発表を行えば支部長賞がもらえるというのは、参加を促す意味で良い取組と思う。まずはこれでやってみて、さらにすそ野を広げて、論文等の実績も対象とするというのも良いと思う。
- ・研究会への参加者は学生あるいは気象台職員が殆どと思うが、予報士会からの発表などもこれを機会に増える可能性があるかと思われ、発表者のすそ野を広げることは大切と思う。来年度、試行的に研究発表を対象に賞を授与するという方向で今後議論を深めることとして、研究会担当理事を中心に素案を作成して、次の理事会で議論するということとしたい。

議題7. その他（事務局から）

① 東北支部会員数

議案を承認した。

② 旅費等について

消費税変更に伴うJR等の運賃値上げ（2014. 4. 1）が、平成26年度第2回支部理事会（2015. 3. 12）以降、議案書掲載の理事会出席旅費に反映されておらず、このため同期間中、支部活動に伴う一部旅費の支払いにおいて不足が生じていた旨、事務局より説明があった。今後早急に対象者と連絡を取り、返金を実施する旨、了承された。

以上